

体験学習

「国別障碍者のサポートと活動について」

2025年8月1日、留学生たちがそれぞれの出身国や世界の国々における障碍者支援制度、社会的な保障、生き方の選択肢などについて調査・発表を行いました。

発表では、日本との比較を交えながら、各国の制度や文化の違いが障碍者の生活にどのような影響を与えていているかを深く掘り下げました。

スウェーデンの発表では、バリアフリーな都市設計や手厚い福祉制度が紹介され、「障碍者にとって最も住みやすい国」としての理由が明確に示されました。ドイツでは、障碍者手帳制度や雇用支援の仕組みが取り上げられ、社会的包摶の実現に向けた取り組みが紹介されました。

ラオスとイランは、政府支援の枠組みや文化的背景が障碍者支援に与える影響が浮き彫りになり、タイでは人権の観点から教育・医療・社会参加の機会が語られました。オーストラリアは、国家戦略や NDIS(国家障害者保険制度)を通じた包括的な支援体制が紹介され、マレーシアではリハビリ支援や経済的自立を促すプログラムが注目されました。



日本における現状と理想の社会とのギャップについても、学生たちは「違いは力」と捉え、誰にとっても優しい社会の実現に向けた提案を行いました。



この発表を通じて、学生たちは障害者支援のあり方を多角的に学び、国際的な視野を広げるとともに、共生社会の実現に向けた意識を高めました。